

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)DPL名港弥富Ⅱ	階数	地下0階地上3階
建設地	愛知県弥富市駒野町1番3	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	460 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2022年5月 予定	評価の実施日	2021年2月10日
敷地面積	53,021 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社フジタ西日本支社一級建築士事務所
建築面積	30,564 m <sup>2</sup>	確認日	2021年2月10日
延床面積	77,766 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社フジタ西日本支社一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外の	77%
④上記+	77%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** **Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR 環境負荷低減性** **LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">3.9</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">2.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>21.5 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	21.5 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	21.5 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">3.5</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄							全体
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
					評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.1</b>	
<b>Q1 室内環境</b>										-	
<b>1 音環境</b>										-	
1.1 室内騒音レベル					3.0	-	-	-	-	-	
1.2 遮音					-	-	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能					-	-	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能					-	-	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-	-	-	-	
1.3 吸音					-	-	-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>										-	
2.1 室温制御					-	-	-	-	-	-	
1 室温					3.0	-	-	-	-	-	
2 外皮性能					3.0	-	-	-	-	-	
3 ゾーン別制御性					3.0	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御					3.0	-	-	-	-	-	
2.3 空調方式					3.0	-	-	-	-	-	
<b>3 光・視環境</b>										-	
3.1 昼光利用					-	-	-	-	-	-	
1 昼光率					3.0	-	-	-	-	-	
2 方位別開口					-	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備					3.0	-	-	-	-	-	
3.2 グレア対策					-	-	-	-	-	-	
1 昼光制御					5.0	-	-	-	-	-	
3.3 照度					3.0	-	-	-	-	-	
3.4 照明制御					3.0	-	-	-	-	-	
<b>4 空気質環境</b>										-	
4.1 発生源対策					-	-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質					3.0	-	-	-	-	-	
4.2 換気					-	-	-	-	-	-	
1 換気量					3.0	-	-	-	-	-	
2 自然換気性能					3.0	-	-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	-	-	-	-	-	
4.3 運用管理					-	-	-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視					3.0	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御					3.0	-	-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>										<b>3.6</b>	
<b>1 機能性</b>										-	
1.1 機能性・使いやすさ					-	-	-	-	-	-	
1 広さ・収納性					3.0	-	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応					3.0	-	-	-	-	-	
3 バリアフリー計画	独自				3.0	-	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性					-	-	-	-	-	-	
1 広さ感・景観(天井高)					3.0	-	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース					3.0	-	-	-	-	-	
3 内装計画					3.0	-	-	-	-	-	
1.3 維持管理					-	-	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					3.0	-	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保					-	-	-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>										<b>3.0</b>	
2.1 耐震・免震・制震・制振					0.5	3.0	0.52	-	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					0.4	3.0	0.48	-	-	-	
2 免震・制震・制振性能					3.0	3.0	0.80	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					0.3	3.2	0.33	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					-	3.0	0.23	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②				-	2.0	0.23	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					-	5.0	0.09	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					-	3.0	0.08	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					-	5.0	0.15	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					-	3.0	0.23	-	-	-	
2.4 信頼性					0.1	3.0	0.19	-	-	-	
1 空調・換気設備					3.0	3.0	0.20	-	-	-	
2 給排水・衛生設備					3.0	2.0	0.20	-	-	-	
3 電気設備					3.0	3.0	0.20	-	-	-	
4 機械・配管支持方法	②				3.0	4.0	0.20	-	-	-	
5 通信・情報設備					3.0	3.0	0.20	-	-	-	

3 対応性・更新性				0.4	4.2	0.48	-	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり				0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり		階高:3.9m以上	-	5.0	0.60	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ		壁長さ比率<0.1	3.0	5.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			地震・架構用も含め50%以上の割増	3.0	5.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性				0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性	②		-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.57	-	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出		独自③		-	2.0	0.30	-	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	まちなみ調和に配慮した景観計画	-	4.0	0.40	-	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		-	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.84	3.0	-	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.13	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.52	3.0	5.0	0.63	-	-	-	5.0
4 効率的運用				0.2	3.0	0.25	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	3.4
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水			自動水栓・節水型便器等を採用	3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.5	0.63	-	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			F.T.Pile工法の採用等取組み4つ	-	4.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		-	3.0	0.21	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自		3.0	3.0	0.21	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	躯体と仕上材が容易に分別可能な構造、OAフロアの採用	3.0	5.0	0.25	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68	-	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			-	3.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率77%	-	3.9	0.33	-	-	-	3.9
2 地域環境への配慮				0.3	3.5	0.33	-	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			燃焼機器の設置なし	-	5.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.2	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自	適切なスペースの駐車・駐輪場確保、渋滞緩和に配慮した導入計画	-	5.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			-	2.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.1	0.33	-	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自		-	3.0	1.00	-	-	-	
2	振動	独自		-	-	-	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制			-	-	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.7	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	-	4.0	0.70	-	-	-	
2	屋光の建物外壁(による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	

**重点項目スコアシート**

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)DPL名港弥富Ⅱ

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.9</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.5</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.2	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.5	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>2.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:21.5%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	<p>弥富市に建築される3階建ての物流倉庫である。                      周辺の環境に配慮し、空地部分は積極的に緑化を図っている。</p>
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価対象外</li> </ul>
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。</li> <li>・高い階高の確保、積載荷重の割増により、対応性に配慮している。</li> </ul>
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。</li> <li>・高温排熱機器を設置しないことで、温熱環境の向上に配慮している。</li> </ul>
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。</li> </ul>
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。</li> <li>・リサイクル材やユニット部材の採用により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。</li> </ul>
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃焼機器の使用を避けて、大気汚染防止に配慮している。</li> <li>・渋滞緩和に配慮した駐車場計画としている。</li> <li>・深夜の減灯等、周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。</li> </ul>
その他	-